

- ◆企画名 KU バザー
日 程 2018年4月16日(月)～4月17日(火)
場 所 総合学生会館凜風館1階 ピアエリア
参加者数 75名(ピア・サポータ4名、研修生3名、留学生68名)
目 的

本学学生及び職員から提供された、家に眠っている日用雑貨(使用・未使用は問わない)を中心とする物品を、**KU バザー**の場で本学交換留学生・正規留学生に無償提供することで、外国人留学生の生活における利便性向上を図る。

内 容

4月16日(月)、4月17日(火)とも以下のスケジュールにて実施した。

12:10 イベント開始

参加者は受付でチェックイン後入場。同時に Facebook への掲載許可を取った。また、スタッフが随時巡回し、物品の説明などを参加者に行い、イベントの様子を写真に収めた。



12:50 イベント終了、撤収作業の開始

残った物品はピアエリアのブース内へ運搬した。その後フィードバックを行い、スタッフ用にオンラインで共有(スマートフォンアプリを使用)し、翌日にその改善を反映できるように準備を行った。また、Facebook ページにイベントの様子をアップロードし、参加者への謝辞とした。

13:00 スタッフ解散

効 果

- ・ようこそ関大 Festival2018 での紹介や Facebook・インフォメーションシステムでの広報効果があり、多くの外国人留学生に参加してもらったことにより、より多くの外国人留学生にそれぞれのニーズに合った物品を受け取ってもらえた。
- ・今までの KU バザーでの経験を踏まえて、事前に物品の仕分けを行い、出品する物品数を増やしきれいな陳列を心がけることで、参加者が物品を選びやすい環境を整えることができた。これにより、例年よりも多くの物品が外国人留学生の手に渡った。

改 善 点

- ・当日スタッフが少ないことから従来通りの規模では運営が難しいと判断し、場所を変更して例年より規模を小さくした。しかし、1日目は多くの外国人留学生が来てくれたため、少々窮屈な印象だった。
→今後、当日スタッフの人数が確保できない場合の開催場所に関する方針を検討する必要がある。
- ・メンバーの予想に反し、1日目の KU バザーで物品数が減ってしまい、KU ブリッジが保有する物品の在庫がかなり少なくなった。
→現在は学生寮や国際部でのみ物品回収を行っているが、今後は物品回収の規模を拡大する必要がある。

感 想

今回の KU バザーは、例年よりもたくさんの外国人留学生を迎えることができ、KU バザーの目的を果たすと同時に、KU ブリッジ自体のアピールとしても効果があったと感じた。KU バザーは新学期の序盤に行われる企画の1つなので、ここで多くの外国人留学生に参加してもらうことで、その後の企画の参加率向上にもつなげていきたい。